

大成建設株式会社

ウェルネス作業所

ナッジ*デザインにより進化した新しい「ウェルネス作業所」

大成建設株式会社が、建設現場に居心地の良い環境を提供することにより、働きがいと生産性の向上をめざして取り組んでいる「ウェルネス作業所」。最前線の作業所を仮設型ワークプレイスと捉え、作業の負担軽減や作業環境の改善に加え、社員・作業員間のコミュニケーション促進と心身の健康増進にも配慮した空間づくりを進めている。計画にあたっては、規模や工期が異なる現場ごとにカスタマイズしやすいよう100のデザイン手法をまとめた「ウェルネスレシピ」を作成。また、2024年には京都工芸繊維大学 仲 隆介名誉教授と東洋大学 戸梶 亜紀彦教授の監修のもと、心理学的効果と密接に連携した建築空間計画のメニューから最適な執務空間が設計できる新しいワークプレイス設計手法「ナッジデザイン」を開発。最新のウェルネス作業所(成田市)には、この手法が採用されている。これに企画段階から関わってきた大成建設関西支店設計部長の小林 浩氏は「ナッジは政治や経済学では良く使われているが建築の世界ではあまり使われていなかったエビデンス。これを用いるとワークプレイスの設計段階でKPIが設定できるので、目標達成に必要な行動が明確になり数値化できる。このため計画通りの効果が上がっていない場合でもピンポイントで改善・改修が可能になる。今回の事例は、ナッジデザインの導入によりバージョンアップしたウェルネス作業所」と語る。



ありたい姿の実現を可能とするナッジデザインの事例(各種効果)

能動的な行動を促す
【メタ認知効果】



吹き抜けや高い位置から全体を見渡せる場所を設け、客観的な視点を持つことで、能動的な行動につながる。

生産性の向上
【同調効果】



同じような境遇や目的の人間を、ある一定数同じ空間に集めることで、心理作用によって能力が高まる。

経験値・企業文化の共有
【モデリング効果】



個人席の周りに打ち合わせコーナーを設けることで、ながら作業で見聞きしたことを疑似体験し経験値として蓄積できる。

- 2階の階段横にある吹き抜けは1階のINSPIRE GARAGEを見渡せる場所
- 吹き抜け下に設けられたINSPIRE GARAGEは半透明のポリカーボネート建材で照度を確保
- 2階個人席の横には、スタンディングで気軽に打ち合わせができるスペースが設けられている
- 奥は採光のためポリカーボネート建材を用い、天井面はあえてパネルを外して木製スケルトン風のデザインに

*ナッジ(Nudge):行動科学の知見により、人がより良い選択をとれるように手助けをする行動理論。そっと後押しするという意味の英語。

ワークプレイスメイキングをめぐる旅

A journey through workplace making

ワークプレイスという空間を、生き方も含めた広い視点で、新しい価値観を探っていくWEB企画です。

Vol.06



ゲンバをWell-Beingな空間に
大成建設「ウェルネス作業所」



Back number



Vol.05
移動するフェーズフリーのワークプレイス
TOYOTA「eXトレラー」
+ 大塚商会「次世代ハイブリッドLPガス電源車」



Vol.04
WeWorkが拓く新しい働き方
「WeWork 赤坂グリーンクロス」



Vol.03
多拠点を行き来する働き方の可能性
「TORIKKA TABLE & STAY」



Vol.02
モビリティとワークプレイスの可能性をさぐる
「LEXUSヨット」



Vol.01
仕事・遊び・生活を交える
「生きる場プロジェクト」



所在地/千葉県
設計・施工/大成建設株式会社

画像・図提供:大成建設株式会社